

データヘルス計画書（健保組合共通様式）

計画策定日：平成27年3月31日

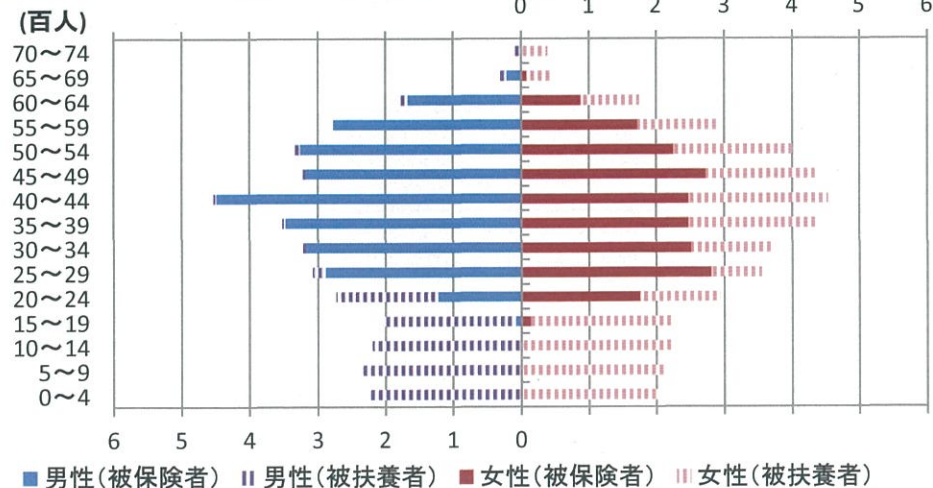
最終更新日：平成27年3月31日

カルビー健康保険組合

STEP 1 - 1 基本情報

「全健保組合共通様式」

組合コード	41450		
組合名称	カルビー健康保険組合		
形態	単一		
被保険者数（平成27年度予算注）	4,685名		
* 特例退職被保険者を除く。	男性57.0%（平均年齢42.4歳）*		
	女性43.1%（平均年齢40.1歳）*		
特例退職被保険者数	0名		
加入者数（平成27年度予算注）	7,579名		
適用事業所数	7カ所		
対象となる拠点数	40カ所		
保険料率（平成27年度注）*調整を含む。	99.5%		
	全体	被保険者	被扶養者
特定健康診査実施率（平成25年度）	56.9%	29.7%	27.2%
特定保健指導実施率（平成25年度）	0.0%	0.0%	0.0%



(注) 記載要領参照

- 1、当健保は設立3年目の経験の浅い組合である。
- 2、母体となるカルビーグループの拠点が北海道から沖縄まで全国にあり、加入者も点在している。
- 3、被保険者の7割は関東圏の事業所に所属している。

		健康保険組合と事業主側の医療専門職 (平成27年3月末見込み)	
		常勤	非常勤
健保組合	顧問医	0	0
	保健師等	0	1
事業主	産業医	0	12
	保健師等	0	0

		予算額(千円) (平成27年度注)	被保険者一人当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	13,349	2,849
	特定保健指導事業費	11,146	2,379
	保健指導宣伝費	8,280	1,767
	疾病予防費	209,581	44,734
	体育奨励費		0
	直営保養所費		0
	その他		0
	小計 …a	242,356	51,730
経常支出合計(千円) …b		2,307,158	
a/b×100 (%)		10.50	

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

健保組合の取組													
予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
特定健康診査事業	1	被保険者人間ドック対象者の年齢引き下げ	【目的】健診項目の充実 【概要】対象年齢40歳以上を35歳まで引き下げ	被保険者	全て	男女	35 ~ 74	基準該当者	65,669	前年度は対象者の受診率47.0%という結果に終わったが、今年度は既に50.3%に改善が見られた。	健診項目の充実と案内確認を春先から前倒して開始した。	健診予約について、希望の日程がなかなか取れない医療機関がある。	4
	1	被扶養者の健診項目の充実	【目的】家族健診項目の充実 【概要】35歳以上の家族健診を人間ドックにグレードUP	被扶養者	全て	男女	35 ~ 74	基準該当者	16,520	前年度の受診率が22.4%に止まったため、より魅力のある総合健診(人間ドック)にグレードを上げた。	個人負担を無料としたことにより、受診率が40%近くに改善できた。	まだまだ、受診率が満足のものではないので、夫婦でドック受診等の広報キャンペーンを行う等、検討中。	1
	1	がん検診	【目的】家族がん検診 【概要】被保険者に加え、被扶養配偶者まで健診対象を広げる。	被扶養者	全て	男女	18 ~ 75	基準該当者	3,044	家族健診の案内書にがん検診の予約案内を組み込み実施した。	対象となる受診者の内、粗全員が、がん検診を受診いただいた。		1
指導事業	3	保健指導	【目的】健康の保持 【概要】健診結果から対象者を選定し重症者予防につながる指導を行う。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ~ 65	基準該当者		健診結果から現在、対象者を選定中。 □ まだ実施に至っていない。			1
保健伝導	7	健保事業案内	【目的】各年度初めに保険事業の内容を周知する。 【概要】リーフレット作成配布にて保健者全員に周知。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ~ (上限なし)	全員	221				4
疾病予防	7	インフルエンザ予防接種	【目的】インフルエンザ予防 【概要】会社での集団接種及び個別接種共に健保にて費用負担を実施。	被保険者	全て	男女	18 ~ 65	全員	5,795		費用負担限度額を4000円としたことにより、粗、個人負担が発生する事無く接種いただけた。	地域により、医療機関が手薄、接種に事前予約が必要等があり、同一条件での全国展開が難しい部分が見られた。	2
	7	がん検診	【目的】がんの早期発見 【概要】被保険者及び被扶養配偶者全年齢を対象として、希望者には費用負担なく受診ができる。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ~ 74	全員	9,286	早期がんの発見につながった事例が数件あり、効果が出ている。	各事業所の協力、リーフレットでの案内により、受診者が増加している。	人により、集団検診での婦人科健診は少し抵抗感があるようです。	1
体育奨励													
直営所													
その他													

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

事業主の取組								
事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
定期健康診断	安衛法にもとづく、定期健診	被保険者	男女	18 ~ 65	粗、全員が受診しているが、当日の勤務状況でキャンセルする者もいる。	勤務時間内の健診が可能。	人間ドック希望者の増加により、健診車の利用が出来なくなる恐れがある。	有
産業医との面談	定期健診で所見の付いた方々に個別指導。	被保険者	男女	18 ~ 65	要再検、要精密検査、要治療者に対して治療結果の把握、生活習慣指導の実施。	健康相談時の個別指導として相談メンバーと相談時間を勤務時間内で指定して実施している。	生活習慣指導の進捗確認までは人数、回数を考えると行えてない状況である。	
ストレスチェック&発症予防	従業員全員を対象にチェックテストを実施し、ストレス状態改善のためのセルフケアの提案とメンタルサポートの実施。	被保険者	男女	18 ~ 65	外部業者へストレスチェック委託。インターネットでのテスト結果に対するフォロー	継続的に実施しており、過去のデータが活用できる状態になっている。□メンタルヘルスの講習を合わせて実施している。	職場の人間関係が起因、コミュニケーション不足が要因となるケースが多く見られる。	
こころと暮らしのほっとライン	ささいなこと、疑問や不安などについて電話、webで相談でき大きな問題となる前に解消する外部窓口を設置。	被保険者 被扶養者	男女	18 ~ (上限なし)	社報、パンフレット配布、ポスター掲示等により案内している。相談利用者あり。	気軽に利用できる。	相談内容によっては、メンタル、コンプライアンス混在となっている。	

注1) 1. 健康診査 2. 健康診査後の通知 3. 保健指導 4. 健康教育 5. 健康相談 6. 訪問指導 7. その他

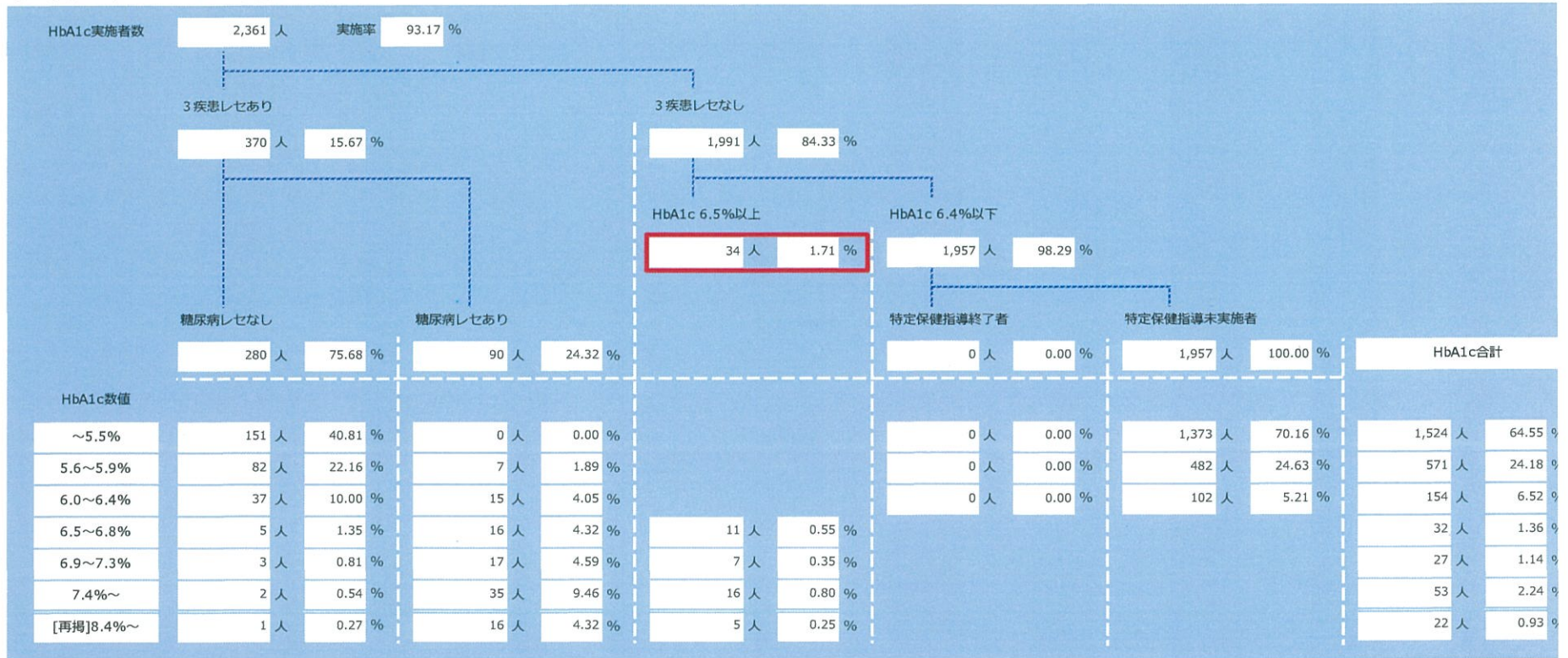
注2) 1: 39%以下 2: 40%以上 3: 60%以上 4: 80%以上 5: 100%以上

STEP 1 - 3 (健診結果より 重症化予防重点対象者)

2014年度 糖尿病・リスクフローチャート

事業所計

本人家族：本人 / 年齢：年齢計



STEP 1 - 4 (健診データとレセプトデータの分析結果より)循環器・メンタル系疾患

循環器系疾患 有病者数

		3765	合計	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75歳以上
高血圧性疾患	人数	514	0	0	0	0	3	5	9	18	47	80	117	134	90	10	1	0	
	割合(%)	13.65%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.08%	0.13%	0.24%	0.48%	1.25%	2.12%	3.11%	3.56%	2.39%	0.27%	0.03%	0.00%	
虚血性心疾患	人数	125	0	0	0	0	0	4	4	8	14	13	30	27	21	3	1	0	
	割合(%)	3.32%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.11%	0.11%	0.21%	0.37%	0.35%	0.80%	0.72%	0.56%	0.08%	0.03%	0.00%	
肺性心疾患・肺循環	人数	5	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	
	割合(%)	0.13%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.03%	0.00%	0.00%	0.00%	0.03%	0.03%	0.00%	0.03%	0.03%	0.00%	0.00%	0.00%	
その他の心疾患	人数	229	0	0	0	0	7	10	16	15	24	31	50	43	30	3	0	0	
	割合(%)	6.08%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.19%	0.27%	0.42%	0.40%	0.64%	0.82%	1.33%	1.14%	0.80%	0.08%	0.00%	0.00%	
脳血管疾患	人数	150	0	0	0	0	3	2	14	10	16	22	26	29	26	2	0	0	
	割合(%)	3.98%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.08%	0.05%	0.37%	0.27%	0.42%	0.58%	0.69%	0.77%	0.69%	0.05%	0.00%	0.00%	
動脈、細動脈、毛細血管	人数	109	0	0	0	0	4	3	2	4	10	12	24	22	25	2	1	0	
	割合(%)	2.90%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.11%	0.08%	0.05%	0.11%	0.27%	0.32%	0.64%	0.58%	0.66%	0.05%	0.03%	0.00%	
静脈、リンパ管、リンパ節	人数	138	0	0	0	0	5	19	23	12	13	15	16	20	13	1	1	0	
	割合(%)	3.67%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.13%	0.50%	0.61%	0.32%	0.35%	0.40%	0.42%	0.53%	0.35%	0.03%	0.03%	0.00%	
その他循環器系	人数	14	0	0	0	0	2	0	3	1	1	3	3	1	0	0	0	0	
	割合(%)	0.37%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.05%	0.00%	0.08%	0.03%	0.03%	0.08%	0.08%	0.03%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	

メンタル系疾患 有病者数

		3451	合計	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75歳以上
アルコール、認知症、脳損傷	人数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
	割合(%)	0.03%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.03%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	
精神作用物質による障害	人数	14	0	0	0	0	0	2	4	0	2	3	2	0	1	0	0	0	
	割合(%)	0.41%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.06%	0.12%	0.00%	0.06%	0.09%	0.06%	0.00%	0.03%	0.00%	0.00%	0.00%	
統合失調症、妄想障害	人数	33	0	0	0	0	0	3	5	4	8	4	5	3	1	0	0	0	
	割合(%)	0.96%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.09%	0.14%	0.12%	0.23%	0.12%	0.14%	0.09%	0.03%	0.00%	0.00%	0.00%	
気分【感情】障害	人数	147	0	0	0	1	9	12	19	12	31	18	24	16	5	0	0	0	
	割合(%)	4.26%	0.00%	0.00%	0.00%	0.03%	0.26%	0.35%	0.55%	0.35%	0.90%	0.52%	0.70%	0.46%	0.14%	0.00%	0.00%	0.00%	
神経症性、ストレス障害	人数	202	0	0	0	2	11	17	24	28	30	28	31	19	10	2	0	0	
	割合(%)	5.85%	0.00%	0.00%	0.00%	0.06%	0.32%	0.49%	0.70%	0.81%	0.87%	0.81%	0.90%	0.55%	0.29%	0.06%	0.00%	0.00%	
知的障害<精神遅滞>	人数	4	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
	割合(%)	0.12%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.03%	0.03%	0.00%	0.00%	0.06%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	
その他の精神、行動障害	人数	25	0	0	0	1	5	4	2	3	1	3	2	3	1	0	0	0	
	割合(%)	0.72%	0.00%	0.00%	0.00%	0.03%	0.14%	0.12%	0.06%	0.09%	0.03%	0.09%	0.06%	0.09%	0.03%	0.00%	0.00%	0.00%	

STEP 2 健康課題の抽出

「全健保組合共通様式」

基本分析による現状把握から見える主な健康課題

対策の方向性

医療費分析	レセプトデータによる分析結果から疾患別医療費を見ると、「消化器系の疾患」「呼吸器系の疾患」「循環器系の疾患」、伸び率からは「精神及び行動の障害・ストレス障害」が高い値となっている。
受診勧奨開始	健診結果から、レセプトがなく、血圧値や血糖値が高い者が多数存在する。

一人当たりの金額上位となる疾病、特に「循環器系疾患」糖尿病予備軍に対し、重症化予防対策として優先的に保健指導を進める。
又、メンタル疾病に対する対応として、該当事業所へ保健師等を定期的に派遣しテスト的に指導を行い効果を確認する。

健診結果とレセプトデータとの突合情報から受診勧奨者を選定し受診勧奨を開始する。特に、血圧と血糖値をテーマに、早期治療の勧奨を進める。

特徴

対策検討時に留意すべき点

基本情報

- 1.当健保は設立3年目の経験の浅い組合である。
- 2.母体となるカルビーグループの拠点が北海道から沖縄まで全国にあり、加入者も点在している。
- 3.被保険者の7割は、関東圏の事業所に所属している。

- 1.個別の健診データの蓄積が必要。分析ノウハウが不足。
- 2.組合が個々の加入者に直接的に働きかけることは困難であり、母体企業の協力体制が不可欠。
- 3.関東圏を中心に健診結果に基づく保健指導をモデル事業所で開始する。

保健事業の実施状況

健診事業 人間ドック、生活習慣病予防健診、特定健診、婦人科健診、がん検診、インフルエンザ予防接種を実施。

保健事業のメニューの拡大
1.特定保健指導の導入 2.メンタル疾患予防事業の試み 3.健診結果の分析から受診勧奨案内通知の送付を開始する。

STEP 3 保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					注2) 実施主体	実施計画			目標（達成時期：平成29年度末）		
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム	
職場環境の整備															
保健指導宣伝	2	新規	コラポヘルス	【目的】事業主における従業員の健康の特徴の認知、健保組合が実施する健康対策への協力・参加 【概要】事業所ごとの従業員の健康状況をまとめ、事業主と健康情報を共有する	被保険者	一部の事業所	男女	18 ~ 65	基準対象者	3	母体企業の工場・営業部門のうち、モデル事業所を設定し、保健指導を開始。	該当事業所拡大。	次期データヘルス計画に向けて、職場環境の整備を進める具体的な題材を洗い出す。	事業所ごとに保健指導体制を確立する。	事業所の健康状況の共有。
加入者への意識づけ															
保健指導宣伝	4	新規	健康維持情報の提供	【目的】自発的な健康の維持・改善行動の促進。 【概要】検診結果に基づく健康維持に関する情報提供を実施。	被保険者	全て	男女	18 ~ 65	基準対象者	3	健診情報等の収集から意識付け・有用な情報を検討	情報伝達のためのツールの検討・導入。各事業所の利用状況を把握の上、成功事例を共有する。	全事業所への導入展開。	すべての対象者への情報提供を実施	自らの健康状況・生活習慣改善の必要性の理解
個別の事業															
特定保健指導事業	3	新規	保健指導	【目的】特定保健指導の実施着手。生活習慣病リスク保有者の生活習慣、健康状態の改善。 【概要】メタボの減少を目的に保健指導を実施。事業主と連携を取り、特定保健指導を受けられる体制を構築。	被保険者	一部の事業所	男女	40 ~ 65	基準対象者	1	対象事業所の選定。モデルとなる事業所での実施。	対象事業所の拡大。	全事業所への展開	対象者に対する実施率 65%	実施者の健康改善。特定保健指導対象者の30%減少。
保健指導宣伝	4	新規	健康習慣支援	【目的】新入学児童を対象に健康的な生活習慣を身につけてもらう 【概要】新1年生を対象に、うがい・手洗い・歯みがきの習慣をつけるために、目標をもって実施してもらうプレゼント企画。	被扶養者	全て	男女	7 ~ 8	基準対象者	1	対象者に対して、リーフレット発送。結果の回収。	事業の継続	事業の継続	結果回収率 90%	健康習慣の定着。
	1	新規	健診項目の拡大	【目的】疾病予防、疾患早期発見 【概要】CT、血液検査内容の充実	被保険者 被扶養者	全て	男女	35 ~ 65	基準対象者	1	血液による、検査項目の拡大。胸部CT等の健診メニューを対象者に自由に選択できるように実施。	脳ドック検査等の導入検討。	全検査項目の個人負担無料化による受診率アップ。	受診率 70%	重症化につながるような疾病の早期発見。
	1	既存	婦人科健診	【目的】婦人科疾患の早期発見、早期治療 【概要】最適なメニューについて検討。	被保険者 被扶養者	全て	女性	18 ~ 65	基準対象者	1	実施方法の改善。集団健診と個別受診の併用により、受診率アップの検討。	新メニューの検討、導入。	受診者の拡大。	受診率 60%にアップ。	婦人科疾患の早期発見、早期治療。
	3	新規	重症化予防	【目的】循環器疾患の合併症、糖尿病性腎症による慢性腎不全等の発症予防 【概要】循環器系疾患・糖尿病性腎症をテーマに重症化予防を目的とした保健指導を実施する。	被保険者	全て	男女	35 ~ 65	基準対象者	1	レセプトデータと健診結果から、対象者を選定し受診を勧めたり、生活習慣改善やセルフケア法をアドバイス。	対象者の拡大、実施継続。	対象者の重症化予防につながったか、効果の確認。	母体企業との連携により、対象者全員に対する指導完了。	新規発症者の減少。

STEP 3 保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					注2) 実施主体	実施計画			目標 (達成時期: 平成29年度末)	
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム
疾病予防	2	新規 受診勧奨通知	【目的】検診結果が受診勧奨領域にある高リスク者を早期受診につなげる。□ 【概要】血圧と血糖に注目し、早期治療を促すための受診勧奨通知を作成し、送付する。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ~ 65	基準対象者	1	健診データに基づく情報提供と運動して、医療機関への受診をリマインドする施策を実施。	受診データとの突合による未受診者への更なる勧奨の施策を実施。	評価結果を踏まえ、更なる施策の継続。	未受診者の減少。	血圧と血糖値に注目したデータ活用の継続。
	3	新規 禁煙支援事業	【目的】喫煙による多くの疾病に対するリスク回避、受動喫煙の防止。□ 【概要】禁煙意識を高める禁煙キャンペーンの導入。	被保険者	全て	男女	20 ~ 65	基準対象者	1	検診結果から禁煙者を絞り、禁煙キャンペーンの案内を送付。外部委託によるプログラムの実施。	チャレンジ意識を高める施策実施。	継続	喫煙率の30%減少。	禁煙意識を高める。
	7	既存 インフルエンザ予防接種対象者の拡大	【目的】インフルエンザの効果的な予防。□ 【概要】集団接種及び個人接種の費用負担を実施。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ~ 65	基準対象者	1	被扶養配偶者を対象にする。医療機関と契約し接種しやすい環境を整備する。	接種者の拡大を検討。	接種率のアップを図る施策を実施。	接種率のアップ 被保険者45%	インフルエンザによる病欠者減少。
	3	新規 メンタル疾患予防事業	【目的】メンタル不調者を未然に予防。□ 【概要】専門家を派遣し、定期的なカウンセリングの実施。	被保険者	全て	男女	18 ~ 65	基準対象者	3	モデル事業所を選定し、こころの健康相談を実施。	モデル事業所の拡大。	全事業所での定期的なカウンセリングができる体制をつくる	メンタル不調による休職者の減少。	気軽に相談できる環境づくり。
その他	7	新規 不妊治療費補助	【目的】高額医療費がかかる特定不妊治療にかかった費用の一部補助□ 【概要】自由診療費用のうち、国、自治体の助成金を上回った金額の一部補助。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ~ 50		1	実施内容を決定の上、制度導入。	継続実施。	継続実施。	利用者数目標 初年度10人、2年目30人、3年目50人	社内の出生率アップ。

注1) 1. 健康診査 2. 健康診査後の通知 3. 保健指導 4. 健康教育 5. 健康相談 6. 訪問指導 7. その他

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業